

## 体育研究所創立40周年に寄せて

### The coming 40<sup>th</sup> anniversary of the founding of the Institute of Physical Education

渡 邊 剛

Tsuyoshi WATANABE

国士舘大学体育学部附属体育研究所設立40周年おめでとうございます。

体育研究所の設置には、体育学部に大学院設置構想があり、昭和52年4月（1977年）に東京教育大学（現筑波大学）を退官された豊田章教授をお迎えして大学院設置構想を練る過程で、研究機関が必要となり、坂井正朗教授が柴田徳次郎館長に研究所設置願いの書面を昭和52年（1977年）4月に提出して、館長から自筆の館長可と、しるした書面が戻ってきたとき、坂井先生がこれで大学院設置が一步進んだと、喜んでいたのが思い出されます。（この書面は坂井先生から、私が退職まで預かっていましたが、現在は大学の資料室に寄贈しています。）

体育研究所は体育学部附属研究所として、昭和52年（1977年）豊田先生が初代研究所所長となり設置されました。研究領域を①国民の健康、体力 ②体育科教育 ③リハビリテーション ④スポーツ競技力向上の四領域を柱として研究活動を推進すると共に、豊田先生が中心となって、大学院申請の準備が進められていましたが、一部の教授から大学院設置に難色を示す向きがあり、直ぐに申請にまで漕ぎつけるに至らず、その途中で豊田先生が病魔に犯され、大学院設置申請が果たさ

れませんでした。その後、色々大学院構想が有りましたが26年間申請は行われませんでした。

豊田初代所長の後を受けて、市川公一教授が昭和55年（1980年）所長に就任され平成7年（1995年）まで15年間の長きにわたり、研究所所報、研究助成、後援会、シンポジウム等の充実発展に大変尽力を頂いたことに感謝申し上げます。その間に長年の念願であった大学院が片岡暁夫教授並びに山本徳郎教授のご尽力により、平成5年（1993年）4月にスポーツシステム研究科が設置され、研究所の一つの使命が果たされた様に思われます。

豊田先生、市川先生両先生が築いていただいた研究所を、平成8年4月（1996年）から、私が市川所長の後をお受けしましたが、私の在任中には目新しい事を行うことができませんでしたが、所員の皆様の御協力をいただき、所報投稿数の増加、シンポジウム、後援会等で学生並びに地域住民の方々に貢献が出たことに、感謝申し上げます。

今後とも研究所の益々の御発展をお祈りいたします。